

二十四節気 **大雪**
(12月7日)

七十二候 **熊蟄穴** (くまあなにこもる) ・ **鰌魚群** (さけのうおむらがる)
(12月12日頃) (12月17日頃)

天気:曇時々晴れ
報告者:上田真佐江

1 季節の移ろい 紅葉が進んできました



コナラ 小檜



ウメモドキ 梅擬



サンショウ 山椒



クサギ 臭木



ヤマボウシ 山法師



カラスウリ 烏瓜



よく見ると、おわん型のキノコの
内側に、たくさんの小さな穴



コマユミ 小檜 小真弓

ヒヨドリジョウゴ 鞆上戸

紅葉樹の葉を、幹に貼り付けてみました



アカメガシワ 赤芽柏



ムクノキ 棕



エノキ 榎



ヤマザクラ 山桜



クリ 栗



コナラ 小檜



クヌギ 櫟 栲



コブシ 辛夷 拳



ミズキ 水木



イヌシデ 犬四手



ホオノキ 朴木 朴葉味噌は飛騨高山の郷土料理

ヤマコウバシは、春に新しい葉が出るまでは、葉を落としません

ヤマコウバシ 山香

特に枝に香りがあります。
和菓子を食するときなどに使う黒文字は、さわやかな香りの爪楊枝。黒文字は、ヤマコウバシと同じなかまクスノキ科クロモジ属の、クロモジでつくられます。



冬芽いろいろ



ニガキ 苦木



コムラサキ 小紫



コブシ 辛夷 拳



モミジイチゴ 紅葉莓
夏に生る果実は食べられます



コナラ 小櫓



雄花



冬芽



クロツバラ 黒つ薔薇

常緑樹…落葉しない木々



ネズミモチ 鼠薔
果実がネズミのふんに似ているのが名前の由来



トウネズミモチ 唐鼠薔
葉脈の側脈が光に透けて見えるのが特徴。要注意外来生物



シロダモ 白だも



奥にスギ 杉
右手前シラカシ 白樺
左手前ネズミモチ

草地の維持

かつて、里山周辺には茅葺屋根の材料（チガヤやススキなど）を供給する場として草原（茅場）があったそうです。また、現在のこんぶくろ池自然博物館や近隣の牧では江戸時代まで馬が放牧されていました。

温暖湿潤な日本の自然は、手を加えなければ長い時間をかけて森林に遷移してゆきます。放牧、採草など人が手を加えることで多くの草原は維持、利用されてきました。

約10年前に草地を再現したところ、ノジトラノオ（レッドリスト環境省カテゴリー絶滅危惧Ⅱ類）など草原性の植物が出てきました。

冬は草刈りのシーズン。草地の生物多様性維持のため、NPOで草刈りを行います。



草刈り途中の草地 手前はガマズミ

2 保全活動

- ① 樹木に関する調査
- ② 希少種の保全活動

参加人数 5名